

佐渡 Kids 生きもの調査隊 田んぼ日記

#### 4月25日 バケツ稲ドライブスルー



レポート: Kids スタッフ



バケツ稲のセットが満載



Kidsドライブスルー開店です♪



ドライブスルー参加条件はマスク着用



本日中に行う指令書付きです

例年だと Kids 活動の第1回目は、田んぼの畦ぬりや種籾まきを行うのですが、今年は新型コロナウィルス拡大防止を受けて休校が続いていたため、各家での活動に変更となりました。バケツ稲のグッズセットをドライブスルーで受け取ります。佐渡では珍しいドライブスルー(2店目!?)で、親も子もちょっとドキドキ。家に帰ったら早速活動です。 ※バケツ稲の様子はP.9にも

#### 5月24日 田植え



レポート: 凛太朗・陽毬・瑛斗・李星・ルナ・玲那、埜愛瑠(先輩隊員)



各家で育てた苗を植える「御田植え」



3種のうちの1種、コシヒカリを植えます



御田植えを終えたら本格的田植え開始!



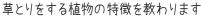
田植え後の生きもの調査も楽しい!

自分たちで育ててきた苗を、自分の名前を書いた旗といっしょに植えました。植えるときは、足がドロにはまって動きづらかったり、苗をまっすぐに植えられなかったりしたのですごく大変でした。でも田植えをしているとき、たくさんの植物や生きものを見つけることができ、楽しかったです。江にもメダカやクモなどの生きものがいました。このあとも、苗が生きものといっしょにぐんぐんと育って欲しいと思いました。

## 6月21日 草とり

レポート:蒼・真央・優奈・理紗・幹(先輩隊員)







まずは「御田植え」エリアをていねいに



クログワイを真剣に探してます



作業後のおにぎりは格別!

夏至の時期になると、稲の生長を阻害する草がたくさん生えてきます。私たちは、それらの草を除去し、稲の邪魔をさせないようにします。特に、ヒエとクログワイは要注意の植物です。ヒエは、稲と同じような実を作るので取り忘れると大変なことになります。クログワイは黒い球根があるので、それをとらないと何度も生えてきます。とても大変だった分、最後に食べたおにぎりはとても美味しかったです。

## 6月28日 とことん田んぼの生きもの調査 🤻

レポート:大城・芳徳・敦史・夢琉・紘太郎・昂太



田んぼアートで記念撮影!



グループごとに生きもの調査道具も管理



だれがいるかな?どんだけいるかな?



サドガエルにも会えました♥

田んぼアートの田んぼとトキ交流会館の横の田んぼの生きもの調べをしました。ミズカマキリ・メダカ・アマガエル・オニヤンマ・ドジョウなど、トキのエサとなる生きものがたくさんいました。サドガエルもいたけれど、動きがはやくて、うまくつかまえられませんでした。小さいころからあこがれていた生きものを、今この手でされることができてとてもうれしいし、このような生きものがたくさんいる田んぼを大切にしていきたいです。

### 8月6日 小木ジオ学習



レポート:莉愛・結衣



「人面岩」、別名「角栄岩」!?



佐渡がどうできたのか。スケールの大きい話です



Kids は生きもの見つけるのが早い



灼熱の黒い海岸でハイ、ポーズ!

川の生きもの調査が、川の増水でできなくなったので、小木のジオパークを学びに行きました。まずは「人面岩」と呼ばれている大きな岩を見ました。相川金銀山の年代の地層と同じ頃の地層で、緑っぽい色をしていました。また隆起波食台というところに行きました。地面に穴があいていて火星みたいでした。海沿いなので、カニもいました。これらが自然にできたものだと知り、佐渡って面白いなと思いました。

### 9月27日 稲刈り



レポート:美花望・悠斗・ちひろ・歩美・青空・那月・エメ



力を合わせて刈り取っていきます



「御田植え」エリアにコシヒカリじゃない穂が。



ハザ掛けをしてじっくりと天日干し



美味しく甘くなりますように

すくすくと育った稲を刈りました。カマで、たくさんの稲をいっぺんに刈ることができてうれしかったです。刈った稲を持ったら、思ったよりも重くてびっくりしました。友達と協力して稲をたばねていると、前にできなかった交差させる結び方がわかるようになりました。ハザに刈った稲をかける作業が楽しかったです。田んぼにはコモリグモ・カマキリ・アマガエルなどがいました。作業後の新米こびりいは最高においしかったです。

#### 10月11日 脱穀作業

レポート:叶望愛・陽士・碧琉・悠真、啓太・朋輝(先輩隊員)



千歯こぎ。昨年体験した隊員はおてのもん。



稲をハザからおろし、コンバインへ



ていねいにまんべんなくわらをまきます



さぁ、どれだけとれたかな?

千歯こぎの体験をしました。千歯こぎとは、昔ながらの脱こくをする道具です。大変だったところは、穂が残らないようにすることでした。そしてはざ掛けしてある稲のひもをほどき、コンバインにいれて脱こくする作業もしました。ひもをうまくほどくのが難しかったです。そしてコンバインから出てきたわらを、田んぼにまんべんなくまいて、来年の栄養分にしました。大変な作業がたくさんあったけど、楽しかったです。

## 1の月25日 米売り準備・収穫祭

収穫したお米の味見と米売りの準備です。今回は硬度の異なる佐渡の湧き水で炊いたご飯の味の違いを探りました。



湧き水の味の違いとご飯の違いに挑戦



まずは佐渡の湧き水3種を味見。どんな味?



「田んぼ日記」の作文作成中



2種の湧き水でぬか釜炊飯



水の違いでご飯の味は違うかな?



その後はカレーと豚汁で新米を堪能

## バケツ稲成長記録

レポート: Kids スタッフ コロナの影響でみんなでの活動がストップしても、米づく りを続けられるよう、今年はパケツ稲にも挑戦しました。



4/25:3種育てます



4/25;種籾を3粒選別



4/25:種蒔き完了



5/2:種蒔き後7日目



5/7:種蒔き後14日目



5/18: 種蒔き後 25 日目



6/29: 泥をかきまわして栄養供給



7/29:赤米折れた(汗)



7/29:有機の穂肥やり



8/28:コシヒカリ出穂



10/1:コシヒカリ収穫



11/4:緑米収穫



隊長:田村莉愛さん(小6)

私は2年生からこの活動に参加しています。活動では、無農薬で米を作る大変さ、生きものが生息できる環境が佐渡にたくさんあることのすごさを知りました。田んぼや自然を知ることで、以前より佐渡が好きになりました。私たちが育てたお米やトキ

認証米を多くの人に食べてもらうことで佐渡の素晴らしさが広 まると良いなと思います!

今年、隊長になってからみんなのことをよく見れるようになりました。前はただ楽しんで参加するだけだったけど、今は責任感を持ち、みんながより楽しめるようにがんばっています。コロナの影響で、活動が減ったり、内容が変わったりしています。隊長としての活動もあと半年ですが、米づくりや佐渡の自然にもっと詳しくなり、隊員も佐渡の自然に興味を持って楽しめるよう、これからも頑張りたいです。



副隊長:小宮山ちひろさん(小ら)

1年を通して心に残っている内容は、だっこく作業です。そして一番達成感があったのは、グループごとに分かれた隊員たちと協力して作業をしたことです。はざるさんがけしたいねをおろして、結んでいたひも(小5)をとっていきました。大変だったことは、

ひもがなかなかとれずに、時間がかかったことです。今度はスムーズに作業ができるように考えていきたいです。

「佐渡 Kids 生きもの調査隊」は、13 年目となる佐渡市の事業で、 (一社) 佐渡生きもの語り研究所が企画・運営をしています。

佐渡島内の小学3~6年生を対象に、自然栽培(無農薬・無肥料) の生きものに優しいお米づくりや生きもの調査を通して、農家さん が育む「田んぼの世界」を学ぶ | 年間のプログラムです。

(毎年4月募集・各小学校より案内が配布されます)

# Kidsの活動はこちらから↓

(facebook 登録をしなくても見ることができます)



佐渡 Kids 生きもの調査隊

検索~

佐渡市・朱鷺と暮らす郷づくり推進協議会・(一社) 佐渡生きもの語り研究所